

■サロン・講座室・2階イベントスペース



【サロン】

蓄音器によるSPレコードの演奏を行ったり、館主催のコンサートや朗読会の会場にもなるサロンは、木組みが美しいゆとりとくつろぎの空間です。

【幻の名器 EMGマークXb】

イギリス蓄音器界の鬼才E.M.ジーンによって1930年頃に製作された名器です。竹針を使用したSPレコード独特のやわらかな音色をお楽しみください。



【講座室】



【図書コーナー】

展示で気になった作品などを読むことができます。



【談話コーナー】

暖炉を囲んで、くつろぎのひとときを…。冬季には薪を燃やします。



【2階イベントスペース】

旧レストラン跡をミニ講演会やワークショップなど、様々なイベント会場として利用できるように再整備しました(飲食可)。普段は休憩スペースとして開放しています。



※サロン・講座室・2階イベントスペースは一般貸出を行っています。

■別館 永井路子旧宅

古河市中央町二丁目6番52号



平成15年10月、古河文学館の別館として開館しました。永井路子氏への聞き取りをもとに修復した店蔵と住居の一部を再現しています。店蔵では永井氏が最後まで使っていた遺品の一部(本棚・机)を見ることができます。入館無料です。

■古河文学館案内図

- 交通／(電車) J R宇都宮線 古河駅下車 徒歩15分
- 東武日光線 新古河駅下車 徒歩25分
- (車) 東北自動車道 久喜IC40分 館林IC30分
- 圏央道 五霞IC25分 境古河IC30分



■古河文学館利用案内

- 開館時間／展示室：午前9時～午後5時
※ただし、入館は午後4時30分まで。
サロン・講座室・2階イベントスペース(貸出日)：午前9時～午後9時
※サロンの貸出は午後6時から。
- 入館料／大人200円(団体150円)・小中高生50円
※団体は20名以上。
※永井路子旧宅は入館無料。
※企画展開催時には別料金になる場合があります。
- 休館日／月曜日・国民の祝日の翌日・年末年始
館内整理日(第4金曜日)
※企画展の前後等、休館日が変更になる場合があります。
- 使用料

	午前9時～12時	午後1時～5時	午後6時～9時
サロン			8,140円
講座室	1,010円	1,520円	1,520円
2階イベントスペース	3,050円	4,070円	5,090円

古河文学館

〒306-0033 茨城県古河市中央町三丁目10番21号
TEL 0280 (21) 1129 FAX 0280 (21) 1135

URL https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/soshiki/6_1/734.html

E-mail bungaku@city.ibaraki-koga.lg.jp

KOGA CITY MUSEUM OF LITERATURE

古河文学館





古河城諏訪郭跡に、平成10年10月、茨城県内初の文学館として開館しました。

「茨城県建築文化賞最優秀賞」「全建いばらき賞」「まちづくりグリーン・リボン賞」等を受賞した瀟洒で大正ロマンの雰囲気を感じさせる洋館に3つの展示室を用意。歴史小説の第一人者である永井路子をはじめ古河ゆかりの作家とその作品を中心に数々の貴重な資料を展示しています。

展示室の他にも、木肌の温もりがやわらかなサロンや講座室などを設置。芸術文化情報の発信地、活動拠点としても機能するような空間設計がなされています。

■展示室2 鷹見久太郎と絵雑誌『コドモノクニ』

古河出身の鷹見久太郎が大正11年に創刊し、児童文学史に大きな足跡を残した絵雑誌『コドモノクニ』と、その後継誌『コドモノテンチ』のコーナーです。

誌面を彩った童画の原画など、『コドモノクニ』『コドモノテンチ』の関連資料を、テーマ展示形式で様々な角度から紹介します。



■展示室3 歴史小説家 永井路子

古河出身の歴史小説家・永井路子のコーナーです。直木賞受賞作『炎環』などの代表作をはじめ、独自の歴史解釈により描かれた多様な作品世界について、テーマ展示形式で紹介しています。

寄贈された2万点以上にのぼる貴重な資料は当館収蔵品の中核をなすもので、古河市の大切な文化財産といえます。



■展示室1 古河ゆかりの文学者たち

万葉集に詠まれ『南総里見八犬伝』に描かれるなど、古河は多くの文学作品の舞台として描かれると同時に、近現代に入ってから、数多くの文学者を輩出してきました。

展示室1では逸見猶吉、粒来哲蔵、粕谷栄市、山本十四尾、沖ななも、佐怒賀正美、小林久三、佐江衆一、和田芳恵、若杉鳥子、一色悦子、金田卓也等古河ゆかりの詩人、歌人、俳人、小説家、児童文学者の作品や肉筆原稿等の資料を常設で紹介しています。



※常設展の展示品は資料保護のため適宜入替えを行います。
※企画展開催時は常設展示が変更になります。



■スポット展示(展示室1正面ウォールケース)

展示室1の一部を使ったスポット展示では、『南総里見八犬伝』をはじめとする古河が舞台として描かれた作品の紹介や、市内の文学史跡をめぐる「古河文学散歩」、地元の同人誌活動の紹介など、常設展示では紹介しきれない古河ゆかりの文学を特集したテーマ展示を行っています。

